

送したような事例もありますが、やはり関係のないと言ったら変な言い方ですが、あまり生活の自分のエリアに関係のない地区ですと、その放送がうるさいとか、やかましいとか、そういった苦情も過去にはありました。そういったいろいろな経緯の中で、やはり該当するエリアだけに情報をお届けするのがいいだろうと。安心メールの場合ですと、地区限定で出すことができませんので、放送で行っておると。こういう経過でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

滝川議員。

○6番（滝川正義君）

もうちょっと時間がないんですけども、今、電気というのは生活のあらゆる場面で使われてるんですよね。私、一番懸念してんのは、自宅で人工呼吸器使ってる家庭が、糸魚川市にはあるかどうか分かんないんですけど、その人がベッドのそばで非常電源持ってます。ところが1時間ぐらしか持ちません。その1時間のうちに消防署から。

○議長（中村 実君）

滝川議員時間です。

○6番（滝川正義君）

失礼しました。中途半端ですが、ここで終わります。

○議長（中村 実君）

以上で、滝川議員の質問が終わりました。

担当入替えのため、15時20分まで暫時休憩といたします。

〈午後3時08分 休憩〉

〈午後3時20分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、保坂 悟議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。〔10番 保坂 悟君登壇〕

○10番（保坂 悟君）

公明党の保坂 悟でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、子育て支援について。

(1) 新生児の1人10万円の特別定額給付金の給付について。

特別定額給付金の対象とならなかった新生児1人につき、誕生お祝い金2万6,000円

の増額分を差し引き、7万4,000円分の商品券を追加給付すべきと考えるが、給付の考えはあるか。

(2) 子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）について。

2014年から試行的に導入され、公明党が推進し2018年4月時点で市町村の4割で設置されている。当市も令和元年度より設置し、産前産後ヘルパー派遣とマタニティサロン等を行っている。現段階での課題や新年度に向けての新たな取組の考えはあるか。

(3) 給食等のアレルギー対策とエピペン周知について。

児童・生徒のアレルギーの種類や家庭の事情により、市の対応は様々となる。

- ① 学校の基本的な対応は、どのように行われているか。
- ② 調理員の方の意見や要望は、どのように反映されているか。
- ③ 教職員のエピペンの周知や研修は、どのように行われているか。

2、糸魚川市のデジタル化について。

(1) 写真や動画によるSNS通報システムの創設について。

- ① 道路渋滞や道路損傷等を通報するシステムを作る考えはあるか。
- ② 聴覚障害者のために「ネット119（緊急通報システム）」を導入する考えはあるか。
- ③ 各種通報を整理して市民へ配信する部署をつくる考えはあるか。

(2) 情報弱者のために市独自の「自治体アプリ」の創設について。

高齢者や障害者にとって使い勝手のよい行政サービスアプリを開発する考えはあるか。

(3) デジタルデバイド（情報格差）解消について。

- ① 市民の中に情報格差をつくらぬ工夫を考えているか。
- ② スマートフォン等の普及策をどのように考えているか。

(4) 広報いといがわ・おしらせばんについて。

- ① デジタル化に向けた市民の意向調査の考えはあるか。
- ② 配付している方たちの意見を聴く場を設ける考えはあるか。

(5) デジタル化に伴い停電時の電源確保策の推進について。

電源確保に自然（再生）エネルギーの普及を考えているか。

3、新型コロナウイルス感染症対策について。

(1) ワクチン接種の情報周知について。

混乱を招かないように正しい情報を適宜配信すると同時に、全市民に情報が行き渡る工夫が必要と考えるが、どのように取り組むか。

(2) パルスオキシメーターの導入について。

「パルスオキシメーター」は、クリップ状の装置を指先に挟み、血液中の酸素濃度を計測するものである。症状悪化の兆しは血液中の酸素濃度の変化に現れるため、自宅療養自身が重症化を防ぐ手だてとなることから、昨年4月より公明党が厚生労働省に導入要請している。糸魚川市においても導入の考えはあるか。

(3) 図書消毒機の導入と学校図書活動の推進について。

- ① 市立図書館や学校図書室に消毒機導入の考えはあるか。
- ② コロナ禍におけるGIGAスクール構想と学校図書館の指針や取組は、どうなっている

か。

(4) 飲食店等の市内経済対策について。

1月19日に商工観光課に相談した飲食店等への救済策について、検討中とのことであったが、検討結果はどうなったか。

4、特色あるまちづくりについて。

(1) 海洋高校を中心とした「海洋学サテライトキャンパス化」について。

- ① 産官学連携特別区の指定を求める運動を展開する考えはあるか。
- ② 海洋スポーツやレジャーの推進地とする考えはあるか。
- ③ 「高校生シーフードレストラン」構想を具体化する考えはあるか。

(2) SDGsを身近に感じる取組について。

- ① 脱炭素社会に向けたエネルギー開発と利用の目標はあるか。
- ② 基礎学力の徹底と興味を膨らます教育環境整備の目標はあるか。
- ③ デジタルデバイド（情報格差）の解消への目標はあるか。
- ④ 手話言語条例に関わる具体的な取組の目標はあるか。
- ⑤ 市内施設等のバリアフリーの推進で具体的な目標はあるか。

(3) 新たな観光戦略について。

- ① ジオパルと各駅舎の活用やイベント列車など「鉄道のまちづくり」の推進の考えはあるか。
- ② 新幹線駅と駅南エリアと市民会館の活用についての考えはあるか。
- ③ アニメやチームラボ等の連携による観光スポットを考えているか。
- ④ アナログとデジタルを体験できる拠点づくりの考えはあるか。

5、気になる諸課題について。

(1) 庁舎トイレの改修工事入札中止について。

- ① 全く動きがないが、このまま市長選や市議選を迎える形になるのか。今後の見通しは、どうなっているのか。
- ② 当初計画のトイレ工事自体は、どうするのか。

(2) 県立糸魚川高等学校に係る県の2つの調査報告書について。

市は地元3高校の魅力化を推進している。昨年12月にあった再調査委員会の報告結果を踏まえて、県が被害者並びに保護者に謝罪するなど一日も早く収束するように提言する考えはあるか。

(3) 空き家対策について。

固定資産税の6分の1課税と空き家の維持管理の隙間を埋める仕組みづくりが必要と思うが、国・県と連携して対応を行う考えはあるか。

(4) 今後の避難行動要支援者への現実的な対応について。

- ① 冬期間の買物や通院を考慮した居住地提案の考えはあるか。
- ② 災害の種類と避難方法を考慮した居住地提案の考えはあるか。
- ③ 爆弾低気圧や台風、大寒波の予想が立つ場合の事前避難の提案の考えはあるか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

保坂議員のご質問にお答えいたします。

1 番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしくお願いたします。

2 番目の1 点目の1 つ目につきましては、先進地事例の研究や課題の整理を行い、システム導入の可能性について検討してまいります。

2 つ目につきましては、F A X 1 1 9 とメール 1 1 9 で対応しており、今後、関係者等のご意見もお聞きしながら検討してまいります。

3 つ目につきましては、市民からの問合せに対し、迅速に対応するため、各担当課で対応しております。

2 点目につきましては、来年度、無料通話アプリを活用した情報配信を予定いたしております。

3 点目につきましては、現在、スマートフォンを活用して情報を得られるよう、初心者向けの講習会を開催いたしております。

また、視覚に障害のある方を対象とした講習会も予定しており、情報格差の解消に努めてまいります。

4 点目につきましては、市民や配付いただいております方々へ意向調査を行ってまいりたいと考えております。

5 点目につきましては、自然エネルギーによる電源確保も一つの方法であるため、検討を進めてまいります。

3 番目の1 点目につきましては、正確な情報を広報紙やホームページ等を活用し、市民にご理解いただくよう、順次お伝えしてまいります。

3 点目につきましては、既に県において機器を導入しており、宿泊療養施設には常備し、自宅療養者には、郵送にて配付するとお聞きいたしております。

3 点目の1 つ目につきましては、導入済みの他市の状況を確認しており、今後、検討してまいります。

2 つ目につきましては、デジタル化が進む中であっても、紙の本を読み進めることの大切さを児童生徒に理解してもらいながら、読書活動を一層推進してまいります。

4 点目につきましては、本定例会において、補正予算を提案させていただいております。

4 番目の1 点目につきましては、海洋高校とは産官学が連携した魅力である取組を行っているところであり、今後もまちづくりにつながるような特色ある取組を進めてまいります。

2 点目につきましては、次期総合計画においてS D G s を明確に位置づけ、各分野で目標を定め、取り組んでまいります。

3 点目の1 つ目につきましては、J R やえちごトキめき鉄道など連携し、引き続き、鉄道をテーマとした誘客を進めてまいります。

2 つ目につきましては、市民会館での催物は、状況に応じて、もてなしの取組も検討してまいり

ます。

3つ目につきましては、これまでもアニメーションなど活用した取組を行ってるところであり、今後もこれらを活用し、誘客を進めてまいります。

4つ目につきましては、ジオパルなどにおいて、VRの活用を考えております。

5番目の1点目につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のための工事であり、実施してまいりたいと考えております。

2点目につきましては、新潟県の案件であることから、状況を注視してまいります。

3点目につきましては、必要に応じ、国・県に対し、要望を行ってまいります。

4点目の1つ目と2つ目につきましては、現在のところ考えおりません。

3つ目につきましては、引き続き、市民への事前避難の周知を図ってまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

保坂議員の1番目のご質問にお答えいたします。

1点目につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、来年度、子ども誕生お祝い事業として、5万円分の商品券贈呈を継続するほか、新たに妊娠届出時に5万円分の商品券贈呈を考えております。

2点目につきましては、来年度、新たに産後ケアのための母乳相談費用を助成する予定であり、今後も支援の拡充に努めてまいります。

3点目の1つ目につきましては、医師の指示書を基に保護者との面談を通して、給食提供の可否などの合意形成を図るなど、適切な給食提供に努めております。

2つ目につきましては、栄養職員と調理員が献立表を基に定期的に打合せを行い、共通理解を図っております。

3つ目につきましては、食物アレルギー対応マニュアルにより、全職員で共通理解を図るとともに救急救命士による研修を行っております。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

すみません、順番を変えまして、番号5番目の気になる諸課題についてから行いたいと思います。よろしくお願いいたします。

まず、庁舎トイレの改修工事入札中止についてであります。正直、本会議初日に市長のほうから行政報告の中で、この件に触れるものかなというふうに私は勝手に思っておりましたが、一言もなかったもので、今回ちょっと確認のためにもここで聞かせていただきます。

まず、入札中止の原因や経過については説明が今全くない状態であります。その辺、説明できる範囲で説明していただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

内容につきましては、2回に分けまして、延期、その後、中止ということで、報道のほうにプレス発表させていただいておりますが、不正が行われるおそれがあると認められたため延期しております。また、その後、不正の事実が確認できませんでしたが、不正行われるおそれの払拭には至らなかったということで、中止をかけさせていただいております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

そうなる、不正のおそれがあるというのは、誰からの情報で、いつ頃の情報で、どういう機関が動いてるのか、その辺は教えていただけますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

不正のおそれがあるという通報については、第三者というところまでしか、この件についてはお話しすることができません。

この件については、市としても現在、警察のほうと相談してるところでございます。今後も、警察と相談しながら、この件についてどう取り扱っていくかを、先ほど申し上げましたように、その状況を見ながら、対応してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ということは、第三者が行政に対して、そういう通報があつて、行政が警察に相談してるという解釈でよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

議員おっしゃるように第三者、そして、先ほど申し上げましたようにその第三者はどなたかという部分については、申し上げることはできませんけども、そこから市のほうに通報があって、それで現在、市のほうとしても警察に相談しているというところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

そういうことであれば、市のほうの、いわゆる市民から見れば、これが官製談合なのか、それとも企業内、企業間談合なのかというところが、非常に注目されてるんですけども、その辺は、企業の第三者ということであれば職員ではないという解釈をすれば、企業間談合のおそれがあるという解釈でよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

その内容については、現段階では申し上げることはできない状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

そこがはっきり言えないということは、官製談合の可能性もあるというふうに受け止められますが、それでよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

先ほど申し上げたとおり、答弁については控えさせていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

私、過去にいろんな不正の事案がありまして、市職員の不正防止マニュアルというのもお願いして作っていただいたところであります。正直言って、今回、市の職員のほうから、もしそういう通報があったのであれば、その身分等を守らなければいけないと思ったんですが、今回はそういうことはないというふうに理解してよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

それを含めまして、答弁を控えさせていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ということは、第三者の中に市の職員も含まれる可能性もあるというふうな理解でよろしいでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

大変何回も恐縮ですけども、そういう面も含めまして、答弁を控えさせていただきたいと思いません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

この件については、議会には全く、正・副議長に対しても当然、議員に対しても全く情報が出されない。この事案が出てきてから、もう1か月たってます。これはゆゆしき問題ですよ。

冒頭に書きましたけど、今、改選期を迎えております。このままただらと行って、このままにしとくわけにはいかないと思うんですが、めどとして、今どの時点で報告できるような状況になっているのか、全くなっていないのであれば、この改選期をどのように対応していくのか。市長もそうですけど、改選期に当たっております。その辺の考え方ちゃんと示していただかないと、黙ってるわけにはいかないんですけど、その辺いかがですか、考え方として。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

現段階では、いつの時期にどういうふうなことになるという部分については、全く見通しが立っておりません。

したがいまして、先ほどの質問については、現段階では、見通しが立っていないということになるろうかというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）



別の見方をすれば、議会軽視にも当たると思うんです。なぜか。皆さんが組まれた当初計画のトイレ工事を予算化してるわけです。それを止めてるわけですよね。本来であれば、不正のある可能性のある業者を抜きにして、ほかでやるということも考えられるんだけど、市の職員も絡んでるということであればできませんよね。そういうふうには受け止めます。であれば、ゆゆしき問題ですよね。やっぱりある程度の期日を決めて、報告するなり、何かしら対応を練らないと、このまま選挙行って、通ったらみそぎを切ったみたいに思われても困りますんで、その辺もうちょっと厳しい姿勢で臨んでもらいたんですけど、その辺の考え、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

どちらにしても、現段階では、冒頭申し上げた財政課長が説明した以上な部分については、現段階でお話しすることはございません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

確認しますけども、行政から警察に相談されて、捜査をしていただいているという解釈でよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

その件についても、ここではお答えを差し控えさせていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

でも捜査でないってなれば、何ですか。内部調査ですか、じゃあ。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

市のほうで調査も、入札の延期をした後、市のほうでは、市のほうとしての調査を行っております。あと、それ以外の部分については、先ほどから申し上げてるように、現段階では答弁を控えさせていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

単純に聞きますけど、皆さんそうやって今の時点では答弁できないという、そういういろんな事情があるから、それは百歩譲って仕方ないなと思うんですけど。これって放っておくとずっとこのままということもあり得るんですか。だって、不正のおそれで終わってるわけですよ。本来であれば何か不正があって事案が出てくれば、それはすぐ摘発など何なのとなるでしょうけど、不正のおそれという時点で今相談されてて、調査されてるんでしょう。ずっと分からないままという可能性もありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

現段階については、その可能性については、分からないというふうに申し上げるしかないというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

あまりにも無責任な対応と思いますので、私はそれについては、きちんと出せる情報をきっちり出してもらって、市民に随時、少しの変化でもやっぱり報告して、理解ももらえるようにしなきゃいけないと思いますし、もし市内の業者が絡んでいて、新たな工事も発注できないのなら、全部ストップということになりますけど、それでよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

当然のことながら、情報を皆さんにお知らせできる分については、最大限お知らせしてまいりたいと思いますし、現時点では、先ほどから申し上げておるように、延期したときに議員の皆さんをはじめマスコミに発表した以上の情報については、現段階では申し上げられないということを申し上げておるといってございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

この件について、最後の質問しますけど、新年度予算のいろんな工事発注というのは、できるんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

発注の時期に適宜判断し、発注できるような状況になれば、発注したいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

もし指名というの、指名停止とかいろいろなったときに、全部年を追って、後半に行って、冬の時期になって工事するみたいなことになったら、とんでもない話ですよ。もうちょっと真摯に向き合って、善処して厳しい対応で、調査もなるべく早く報告して対処してもらいたいんですけど、その辺、市として努力できますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐総務部長。〔総務部長 五十嵐久英君登壇〕

○総務部長（五十嵐久英君）

新年度に入りまして、そういう工事の執行に大幅が出ないような工夫はしてまいりたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

もう今日、この時点でもいろいろ注目を浴びてると思っていますので、しっかりした対応をお願いします。

また、議会も責任問われてしまいますので、その辺重々分かっていたいただきたい。今まで議会軽視ですからね、いいですか。

次、行きます。次、県立糸魚川高校に係る県の二つの調査報告書であります。

これも1回目の質問のところで書きましたけども、市は地元3高校の魅力化を推進しております。そういった中、地元にある高校に係る調査報告が二つも出てきたと。で、県はこの報告を12月に出しているんですけども、その後の対応って全然動いてないんですね。これは糸魚川市にある学校とすれば、当然、市民の子供たちも通わせていただいているわけですから、すっきりさせた形にしたいいただきたいということを、市が強く要望していいと思うんですよ。県の案件ではありますが、やはりその辺を強く要望して、決着をつけて、この地元にある高校の魅力化づくりに全身全霊で取り組むと、そういうふうにしたいんですけども、その辺の考え方はいかがなもんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

お答えいたします。

私も現在の状況については、今早急な解消が必要であるというふうに思っております、このことについては、県のほうにも私のほうから申し伝えをさせていただいております。

しかしながら、県の案件ということでございまして、現在、状況を注視しているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

教育長のほうから、県のほうに呼びかけとかしていただいていることには感謝いたします。

このことが原因かどうか分かりませんが、今年度の高校入試の倍率です。この3高校とも定員割れということで、非常に残念な思いでいっぱいであります。コロナの影響とかいろいろあるかもしれませんが、やはり市としては地元にある三つの高校ですから、よりよく、また、子供たちにも楽しんで学んでいただける環境づくりにしたいので、この件につきましては、県の案件とは言いつつも、適宜また解決に向けて要望活動をしてもらいたいんですが、いま一度、その約束していただけますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

井川教育長。〔教育長 井川賢一君登壇〕

○教育長（井川賢一君）

お答えいたします。

繰り返しの答弁になりますが、私のほうから気持ちは申し伝えさせていただいております。そういった中で、早く解決することを願っている。それをまた県のほうもそれを踏まえて対応してくれるものというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

私の今の様子を見ると、後から出てきた報告書が、私は正しいかなというふうには思っているんですが、どうもそこから動きがないということが本当に県も不思議なところだなと思っております。これは私の感想です。

次に、（3）空き家対策についてであります。

空き家を積極的に売買する方法として、価格帯と今後の維持費用を比較できる仕組みを提案するため、民間不動産会社と連携した事業を進めていただければ、ただ言い値の値段をつけるのではなくて、実態に見合った価格をつけるとか、売るとか、賃貸とかを積極的にやっていただくと、今の

「いえかつ」の事業なんかは発展するんじゃないかな。また、若い人や、また高齢者も、市内移住というんだかね、そういうのも図れるんじゃないかということで、その辺積極的に行ってもらいたいんですが、その辺の考えいかがかなmondでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

確かに今の人口減少、高齢化という形で、空き家の数も増えてきております。今年も調査を、昨年ですかね、調査をやった結果もありますので、そういった中で「いえかつ」等連携しながら、扱えるものはやっぱり早く、時間が経過しますと家屋が劣化してまいりますので、早く所有者の皆さんとお話しをしながら何とかつなぎ合わせるように流動化のほうを進めていくという考えで進めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

あとちょっと余計なお世話だと言われる可能性があるんですけども、実はいろいろ市民の方とお話ししていく中で、空き家の周辺住民の声というのを聴いてあげる機会って設けてほしいんですよ。いろんな不安があっても、結局、持ち主のものだからということで、どこにも言えないくて、でも風が吹くと、とたんが飛んできたりだとか、花壇みたいなものが、プラスチック製の花壇というか何ていうんですか、園芸用のプランターみたいなものが飛ぶだとか、そういう声あるんですね。だから、空き家の周辺の方の声というのも持ち主に伝えるのも行政の仕事かなとは思んですけども、そういった対応をしていただきたいんですが、いかがなmondでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

おっしゃられますように空き家周辺の方の苦情、周辺の方が考えてることをご本人にお伝えするという事は、大切なことだと思っておりますので、そういった苦情がありましたら、ご本人に写真つきで、今は郵送で送らせていただいているというのが現実でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

コメントも熱いコメントを書いて、ぜひ写真だけでなく、お渡ししていただきたいなと思います。先ほどの賃貸と売買に向けて一つのヒントになるのかなと思っておりますのは、高齢者向けの方には、

スーパーや病院の近くの空き家を推進するだとか、若い人向けには、例えば幼稚園、保育園、小学校の近くの空き家を推進するだとか、何ていうんですか糸魚川にある空き家と、地理的条件も交えたようなもので推進していくような、それぐらいのことをやっていかないと、なかなか難しいんじゃないかと。

また、糸魚川市によくサーフィンを好きな方が来られていて、サーフィンのシェアハウスみたいなものとして、空き家を活用してもらうだとか、何かそういう提案をもうちょっと積極的にやっていただきたいんですが、その辺の考えいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

お答えします。

確かに選ばれる方には、そういったニーズというのがあると思うんですね。やっぱり自分の目的にあった土地、それから場所、そういったところを「いえかつ」に限らず、移住定住というサイドになりますけども、窓口の中で相談を受ける中で、こういった状態をお好みになるとか、または年齢的にどういう、例えば高齢者であれば便利なところ、あとお子さんがいらっしゃれば学校に近いところ、そういったところを「いえかつ」だけじゃなくて、移住相談の中でも受ける中でちょっとアドバイスはしていくように努めてまいります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

次に、（4）番目の災害時の要援護者への具体的な対応支援であります。

なぜ今回この質問にしたかという、やっぱり今回の豪雪であります。やはり今回の豪雪の中で雪がたくさんある中で避難等を考えたときに、雪があつて避難ができないとか、事前に予測が立つ災害については、東京都江戸川区の取組ですかね、例えば民宿とかホテルにもうあらかじめ避難してくださいということで助成金として3,000円かな、1泊3,000円出すとか、かなり積極的な取組をされております。

ただ、当然、地震だとか予測不可能なものは無理なんですけど、高齢者、特に要は車椅子の方だとか、あと自分で歩いて避難できない方に関しましては、ちょっと積極的な避難方法というのを考えてもらいたい。いざ担架で運ぶにしても、おんぶして運ぶにしても、なかなかこの雪道では歩けないわけですから、そういったちょっとした体の動かしにくい方に関しましては、ちょっと積極的な避難方法、事前避難方法というものを検討すべきと思うんですが、その辺の考えいかがなものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答えいたします。

私ども消防本部では、これまでも地域に出て、出前講座等々の中で事前避難、早期避難、そういったことを呼びかけております。そういった中で今現状はどうかといいますと、特に山間地のほうの高齢の世帯では、冬場はもう町場の息子のところに行ってるとか、そういうような自衛的に早期避難しているところもあります。

今ほど議員さんおっしゃられた台風等々の、事前にホテル等を用意してみたいな話は、それも一つの方法としてあるというふうに思います。

ただ、費用の面、あるいはそれだけのキャパがあるか、そういったいろいろな面もありますので、そういったところも含めて検討していきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

今回、ここに項目にあるとおり、避難行動要支援者ということで、その程度にもよるかと思いますが、ぜひ前向きに考えていただきたいと思います。

続きまして、番号一番最初に戻りまして、子育て支援に移らせていただきます。

今回、新生児に対して1人10万円ということをお願いしておったところ、新年度予算のほうでは出産お祝い金と妊娠届お祝い金かな、二つで合わせれば10万円になるんですが、私がずっと訴え続けている今年度の新生児に対しては、何かしらプラスアルファというのはないのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

教育長答弁のとおり、コロナの状況を踏まえまして、新年度の予算を今現在、提案させていただいているところであります。

ご質問の7万4,000円、今年度のというところは、今現段階では考えておりませんが、当然、妊娠届なり出生届の際に、そういった世代の声を聞く中で、適時適切な支援をしていかなければいけないというふうには考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

妊娠される方も生まれてくる子供にとっても、今回のコロナがあったからといって、何ていうのかな本当に切ないんですけども、また、結婚だとかそういういろんなものに対して延期されたりとか、先ほど今日も一般質問でありましたけども、いろんな影響が出てる中で、今年度に生まれた新生児には何か姿形でも応援してあげてほしいなという思いでずっと1年間、要望してきたんですが、

何か工夫をして、激励をしていただきたいなというふうに思います。

これはもう要望にしておきます。よろしく願いいたします。

次に、子育て世代包括支援センター日本版のネウボラであります。

ちょっと確認させていただきたいのが、この妊娠届の提出数、いわゆる母子手帳の交付数というのと、実際に面談される数というのは、大体同じ数になってますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

妊娠届を提出される際に、こども課の保健師のほうが妊娠届けに来た方と面談をさせていただいて、質問項目によって何の支援が必要なのか、そういったところを生活環境も含めて一人一人丁寧にお聞きしている状況であります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

ということは、母子手帳の交付数と面談数は同じというふうに理解しました。

次に、保健師が1人で実際何人ぐらい対応されているのか、把握されてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

妊娠届数は、今年が少なくても200弱、165ということで、こども課の保健師は、会計年度任用職員を含めて5人おります。とすると30ちょっと、1人で持っているという計算になるんですが、保健師は地区で担当しておりますので、地区によっては多い、少ないがございます。

ただ、1人の保健師だけではなくて、やはり2人で応援するといった協力体制は取っております。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

私が言うまでもないんでしょうけども、皆さんのほうが現場で事案で相談内容であるとか、質の問題であるとか、いろいろあって、保健師にかかる負担というものもよく把握されて、要は、丁寧な対応をすればするほど保健師の負荷がかかるというふうに私見てますんで、やっぱり必要に応じて、その子供の様子であったり、親の、コロナだとか、あと独り親でいろんな悩みを持つての方だとかに対応していると、単純に人数で割れない部分であると思うんですよ、相談内容とか、言葉は変ですけど付き合い方とかあって。そういったところの内容をよく把握した上で、保健師の人



数というものも考えてもらいたんですけど、その辺いかなうものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

議員おっしゃるとおりいろんな方、妊娠届けに来られる方はいろんな方がいらっしゃいます。それぞれの生活環境があって、1人の保健師では抱え切れないような事案も実際ございます。そういうときは、家庭児童相談員もおりますし、元年度から包括支援センターの室長を設置いたしましたので、そういったチームで当たるように心がけているところであります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

まさに子育て世代包括支援センターの根幹がそこにあるものですから、丁寧な対応をしていただかないと意味がないものですから、ぜひ受け手側というか保健師側の体制強化をよろしく願います。

じゃあ、これは終わりにします。

次に、糸魚川市のデジタル化についてに移ります。

道路の渋滞状況を通報するシステムづくりと道路の損傷を通報するシステムなんですけど、技術的にはもうスマートフォンがある程度普及されておりますので可能かと思えます。要は、後は市のほうがやるか、やらないかという話なんですけど、これについては、今回の豪雪で、特に能生の渋滞情報が、私もSNSで知ったわけですけども、非常に有効な手段だと思うんですけど、今後どのような取組をされるのか、ちょっと教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

この通報システムは、近場ですと妙高市、柏崎市のほうで、もう既に導入・運用がされております。皆様から通報をいただくことで、私ども取り組んでおる道路パトロールとかで発見できなかった不具合の早期発見・早期対応につながる。

また、日中のパトロールが中心なんですけど、そこでは分からない街路灯の不具合ということも通報いただければ知り得るというメリットもございます。

ただ一方で、通報内容が市の管理施設以外の県道であったり国道であったり、個人のうちの草が道路に出るとか、いろいろな様々な苦情、声が寄せられます。それらいいとこと、少し悪い、悪くないですね、関係ない、糸魚川市が所管していない情報が来た場合に、それらをどう整理をして、所管するところに伝えるか。そういう私ども受ける部分の組織というか体制みたいのを少し勉強し

ていかないと、安易にぱっと入れていっても動かないのかなというふうにあります。

市長答弁のとおり、近場に先進のところがあるものですから、今ほどの課題の整理を行いながら、導入の可能性について、庁内の関係課とも連携して、研究・検討していきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

確かにやみくもにというか、そういうのは確かに混乱を招くかもしれません。初めの試行的な取組とすれば、ちゃんと相手が見える方で、協力してもらえる方を試験的にモニターみたいな形でやってみて、その中で不都合とか、これはよくないねというの、そういうのも探していただければなと思います。だから、いきなりボンと市民全体に広げるわけではなく、ルートごとにある程度のちょっと職員のほうから声かけていただいて、協力してもらえんかという形で、少しそういう導入に向けた試行錯誤というものをぜひやっていただきたいなと思います。

それがボランティア化なのか、多数の手数料というか渡してやってもらうのか、その辺もまたいろいろ検討はあるんでしょうけども、まずやってみていただいて、この機能を十分に生かして、損傷の発見、また渋滞の早期発見というものを、ただ苦情の電話いただくだけでなく状況を見て、対応も考えるというところまでセットで考えていただきたいんですけども、その辺今の試行的な取組いかなものんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

五十嵐建設課長。〔建設課長 五十嵐博文君登壇〕

○建設課長（五十嵐博文君）

お答えいたします。

小さく始めるということも大事な観点かと思っておりますので、そういうことも含めて勉強・検討していきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

次に、聴覚障害者のためのネット119であります、これはもう本当、市民の方が直接、実際、メール119が使いづらかったという声いただいたものですから、ぜひこういうものがあるのであれば導入をという要望でございます。先ほどは検討するという事なんですが、担当課としては、その検討内容は積極的なものなのか、その辺ちょっとご回答いただければと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答えいたします。

私どもも、このネット119というのは、聴覚障害者並びに言語障害のある方、こういう方にとっても非常に有効な手段だというふうにはいいものだと思います。できれば入れていきたいもんでありますが、今のところちょっとシステムに、まだ完璧ではないという部分もあるようでして、ちょっとその辺、周りの消防の様子も聞きながら、そのシステムが十分実用に耐えられる状態になったら入れていきたいというような気持ちでおります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

次に、（2）の情報弱者のために市独自の「自治体アプリ」の創設ということであります。

私がイメージしているのは、今現在、スマラクですかね、市もいろんな取組して、ホームページも工夫されてるのは存じ上げております。

ただ、一歩高齢者、また障害者の使い勝手のよさという部分で、私が示してるのは、スマートフォンの画面に本当にオレンジとか黄色とか青で、それがもう自治体サービスであるとか、医療機関の予約であるとか、公共機関の予約であるとか、そういった分かりやすいもので、でも今マイナンバーというものは当然あるわけですから、そういったものも組み入れた形で、もうその人がもうそのスマートフォンから情報が来れば、もうその人だと分かるわけですから、必要に応じて必要なサービスが提供できるようなプログラミングをして、それをぜひ導入して、スマートフォン持つてると便利だねというのもしっかり分かってもらいたんですね。そうすることによって、テレビ電話であるとか、今回の災害情報であるとか、一発でそのボタンを押すだけで、もう自分の身近な情報が手に入れられるという、そういう環境をぜひ糸魚川、先進的に取り組んでいただきたいな。なぜかと、過疎地域だからです。

割に便利なところの方たちはいいかもしれません。ここはいろんな面で不便さがあるわけです。でもスマートフォンで得る情報、またスマートフォンで予約入れるサービスが充実していれば、またここに住む価値というのも高まるもんですから、ぜひそれは国・県に要望して、お金もらってでもこういうことをモデルケースでやっていきたいんだというぐらいの気持ちで、ぜひ全担当課で協力して、そういったアプリを独自の、市民にとっていいアプリ、業者にとっていいアプリじゃない、市民にとっていいアプリをぜひ構築するような研究努力をぜひしていただきたいんですけども、その辺の考え方がいかなるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

まさしく議員ご指摘のとおり高齢化社会の中において、やはり行動がだんだん高齢化によって制約される部分がございます。そうなったときに自分の意思表示ないし自分たちの生活において、やはりこの意思を伝心していく非常に重要なツールがやっぱりスマートフォンであったりタブレットだろうと思うわけでありますので、現在、今始めましたが、そういうことでアプリもそうございましょうが、まず自分たちが、一番自分のものとして一番利便性の高いものは何だろうか、自分たちは何のために使うんだという今の皆様方の生活の中で、やはりそれを探っていただいて、まずそれから入っていくことが、やはり自分の一番身につくものになるのではないかと、そんなところを今ベースに置きながら、今スタートいたしております。最終的には、やはりそれで生活がもう十分成り立っていくようなものになっていけば、この糸魚川、市の面積が広いんですが、そういうところに皆さんいろいろと住居もあるわけがございますので、そういったところにも、どこに住んでいても市民生活に潤いのあるものになっていくのではないかなとは思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

私も参考までに、項目的には今言ったとおりなんですが、リモートの基本としてテレビ電話、要はお孫さんと安否確認ができるようなもの、あと公共交通手段のアプリ、今後、自動運転の車とか出てくればいいんですけども、やはりワンタッチでタクシーが呼べるとか、あとデマンドバスが呼べるとか、予約が入れられるとかというのを考えてもらいたい。あと買物アプリ、また買物代行アプリ、ある程度その人が必要なものを押してくれれば、スーパーさんが何件かまとまって配達ができるみたいな。また、運送会社と連携して、もうけを2分にしてやるというサービスもよろしいかと思うので、そういった取組、あとさっき言った行政サービスの申込みアプリ、いろんな必要な書類を行政にやってもらえると。あと観光振興アプリ、観光またはゲームでも何でもいいんですが、遊べる、楽しめる、また健康につながるようなアプリ、あと緊急時に役立つアプリとして、ハザードマップであるとか、災害に応じたそのときの緊急度に合わせたアプリをぜひ開発していただきたいと思います。

これは要望にしときますので、よろしく願いいたします。

次に、デジタルデバイド、情報格差の解消についてであります。

市民の中に情報格差をつくらないための工夫ということで、今回いろんな市民の方からお話聞く中で、先ほども山本議員でしたかね、要は、ホームページをご覧くださいという、いろんな資料があるんだけど、そのホームページにたどり着けない俺たちはどうするんだみたいな声たくさんやっぱり聞くんですね。だから、そういうインターネットで確認してくださいって簡単に言うんだけど、それができない人たちのために、先ほど市長の答弁のほうでも少し苦手な方への初級講座というお話もあったんで、ちょっと安心しているんですが、やはりそういう方たちのためにちょっと行政も頑張っていただいて、せめてホームページを見るだとか、そういうところまでの手ほどきをぜひ民間も巻き込んでやっていただきたいんですけども、その辺の考えいかなるものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

先ほど市長も答弁いただきましたが、市民どなたでもスマートフォンが使えるような、これからの情報社会にとって重要であるというふうに考えておることから、今年度の2月からですが、初心者向けの、特に高齢者の方が多いんですけれども、講習会を開催しております。これにつきましては、今後も回数を増やしながら開催していきますし、今現在、募集をいたしますと満員になるような状態で、非常に好評を得ておりますことから、なるべく初めて触る方を中心に広めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

今、大きなお世話かもしれませんが、参加された方が楽しかったと言って帰ってもらうようにぜひしてください。そうすると、またいろんな方にそれが伝播して、講座に行くことが楽しみの一つになるというぐらいにさせていただくと、やっぱりスマートフォンただやれとか、パソコンただやれという、勉強と同じですよ。ただ勉強しろと言われても、なかなか勉強したくないという反発心が生まれますので、行ってた方が楽しいなど、こんなこともできるんだ、こんなメリットもあるんだと一つ、二つ言っていただけるような講座をぜひ続けていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

次に、広報おしらせばんについてであります。

先ほどちょっと意向調査をしてくださるという答弁いただいたように思うんですが、具体的にはいつ頃、どのような形で意向調査していただけますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺総務課長。〔総務課長 渡辺 忍君登壇〕

○総務課長（渡辺 忍君）

お答えいたします。

広報おしらせばんにつきましては、様々なご意見をいただいております。これだけ情報が進んでまいりまして、紙媒体をデジタル媒体にしたらどうかとか、いろんなご意見をいただいておりますことから、回数を減らすとかその辺も含めまして、来年度中にはやっていきたいと思っておりますし、まだ具体的に日程等は決めておりませんが、来年度中には実施していきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

この背景については、もう大分、何年も前ですけど高齢者の配付する側が、やはりおうちが、階段が高いとこ、そういうこと回るの大変だと、それは広報ではないんですが、同時に赤い羽根募金

とか交通安全協会の分は保険のお金を集めるだとかと回るときと一緒に配るわけですけども、やっぱり難儀されてる方の声をよく聞いております。

あともう一つ、こないだ聞いたのは、やっぱりアパートに住まれてる方が、やっぱり全然会えないとか、あと広報をせっかく持っていても、それ要らないと言われてしまったりだとか、そういう声もございます。そういう意味で、やはり実態をきちんと把握した上で何が一番いい方法なのかというものを、ぜひ探っていただいて、お互いに気持ちのよい行政の広報活動ができるようにしていただきたいと思いますが、その辺やっただけのことなので期待しておりますが、なるべく早めにお願ひしたいなと思います。

次、(5)番であります、停電時の電源確保であります。

これも先ほど議員のほうから質問等ありましたけど、やはり糸魚川市はいろんな自然環境が整っている関係で、今度のエネルギービジョンのほうにもいろいろ書いてありましたけども、やっぱり太陽光、小水力、ミニ風力をぜひ進めていただきたいんですけども。目的としては、やっぱりさっき言ったスマートフォンを普及させるためには、電源確保って大事になりますので、そういった工夫をぜひ進めていただきたいんですが、考えがあれば教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

高野環境生活課長。〔環境生活課長 高野一夫君登壇〕

○環境生活課長（高野一夫君）

お答えいたします。

新エネルギービジョンの中でも避難所となり得る公共施設に太陽光発電ですとか、そういった再生可能エネルギーを使った蓄電池等の設置のプロジェクトもございますので、そういったところに対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

また、その一方で、今回の大雪みたいななかなか人が入っていけない状況ができたりとかいろんなことを考えますと、何ていうんですか手動のこういう懐中電灯みたいなものがありますよね。ああいったものでもやっぱりスマートフォン等の電源が取れるようなものもぜひお知らせして、それは給付というわけにはいかないと思いますので、こういうものがあるということも紹介していただきたいと思います。

あと最後になりますけども、ちょっと全部、ごめんなさい、飛ばして、コロナウイルス感染症対策で、飲食店への市内経済対策であります、今回予算で対応策をしていただいているんですけども、一番どういうところを市民の声を受け止めて、今回の対応になったのか、その辺だけちょっと説明してください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

新型コロナウイルス感染症が拡大して以降、全国的にもそうなのですが、市内の宿泊業者、また飲食業者を中心として大きな打撃を受けているところでございます。これまで糸魚川経済団体連絡協議会から数回要望も受けておりますし、また、アンケートもさせていただいております。併せて、関係の業界の団体からも要望いただいたり、様々な聞き取り調査も行う中で、特に今回、飲食店と宿泊施設について、かなり影響が大きいということで、この2点を中心に支援策について提案をさせていただいていただいているところでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

保坂議員。

○10番（保坂 悟君）

以上で、質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（中村 実君）

以上で、保坂議員の質問が終わりました。

本日は、これにてとどめ、延会といたします。

大変ご苦労さまでした。

〈午後4時19分 延会〉

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

議 長

議 員

議 員